

科目名・科目番号 (022171)		教員名 矢花 光	学科等	社会福祉・必修	履修年次	1.2
介護概論			曜日・時限等	集中・半期	単位数	2
			オフィスアワー	金曜日・2時限	B324研究室	
授業概要 とねらい	保健・医療・福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、福祉の専門性に求められているものはますます高くなっている。そこで、本講では職業倫理、専門的な知識と技術、また、チーム医療における福祉職の役割に関して、できるだけ実際（現場）に近づけて説明、指導していく。ねらいは、介護に関する知識を根拠に基づいて習得し、活用できることである。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の概念や対象及びその理念等について理解する。 ・介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方について理解する。 ・終末期ケアの在り方（人間観や倫理を含む。）について理解する。 					
準備学習	介護に関するニュースは毎日のように新聞・ニュースで報道されている。日頃から介護について興味をもつために介護に関する報道を把握しておくこと。					
授業計画	回	授業内容	行動目標			
	1	オリエンテーション 介護の概念や対象	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスをもとに授業の進め方や留意事項等を理解する。 ・介護の概念と範囲、理念、対象について理解する。 			
	2	介護のはたらき・介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の定義、介護の原則、機能を理解する。 ・職業倫理、人権の擁護とは何かを考え、意味を理解する。 			
	3	介護と社会福祉、医療・看護との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活」「自立支援」について検討する。 ・介護と社会福祉・看護との関係が理解できる。 			
	4	利用者の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「ニーズ」とは何かを理解する。 ・対象者となる人への理解と、介護の役割を理解する。 			
	5	介護関係維持のための技法(1)	各技法(観察、コミュニケーション、記録等)について、目的・方法を理解する。			
	6	介護関係維持のための技法(2)	保健・医療・福祉の関係者との連携の方法と実際を理解する。			
	7	介護技術(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術のとらえ方を理解する。 ・介護従事者に求められていることを理解する。 			
	8	介護技術(2)	障害形態に応じた介護技法を理解する。			
	9	介護過程(1)	ケアマネジメントと介護活動を理解する。			
	10	介護過程(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の必要性と一連の流れ等、基本的考え方を理解する。 ・事例を用いて介護過程を展開することで理解を深める。 			
	11	認知症ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の主な原因疾患や心理特性等を理解する。 ・認知症ケアの基本的考え方やケアの実際を学び、述べる。 			
	12	終末期ケア	終末期における心理的・身体的変化、ケアの基本的考え方を理解する。また、人間観や倫理観、終末期ケアをめぐる諸問題を検討する。			
	13	介護と住環境	介護のための住環境について要介護者・介護者の立場に立って検討し理解できる。			
	14	在宅・施設介護の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅・施設介護の意義と基本理念を理解する。 ・事例を用いてグループ討議・発表することで理解を深める。 			
15	福祉レクリエーション	介護の現場における福祉レクリエーション体験し、必要性を理解する。				
成績評価の方法・基準	演習における授業態度(20%)、授業内に行うミニレポート(10%)及び、試験(70%)結果により総合的に評価する。					
教科書	書名 新版・社会福祉士学習双書2016第15巻 介護概論	著者 新版・社会福祉士学習双書編集委員会	発行所 社会福祉法人 全国社会福祉協議会			
参考図書	書名 必要に応じて参考書等を紹介する。	著者	発行所			
教員からのメッセージ	授業内容は進捗状況によって変更することがあります。					